

女性国会議員の割合  
日本は 9.5%  
113 位

## 世界と日本の女性議員



世界の国会議員らが参加する列国議会同盟(IPU)が、世界各国の議会に占める女性の割合を公表しました。

日本は、9.5%で 190 か国中 113 位(平成 27 年 1 月 1 日現在)。昨年の 127 位からは順位をあげましたが、先進国の中では依然低い位置にあります。

世界的女性議員の割合は、平成 24 年に 20%を超えて以来増加しています。女性議員増加の要因は、各国の社会的状況の変化もあり様々ですが、一因にクォータ制の導入があるといわれています。

### クォータ制ってなに?

#### クォータ制とは

議席の一定比率を女性(あるいは両性)に割り当てる制度

#### 主な 3 タイプ

議席割当制

議席のうち一定数を女性に割り当てる

候補者割当制

議員の候補者名簿の一定割合を女性にする

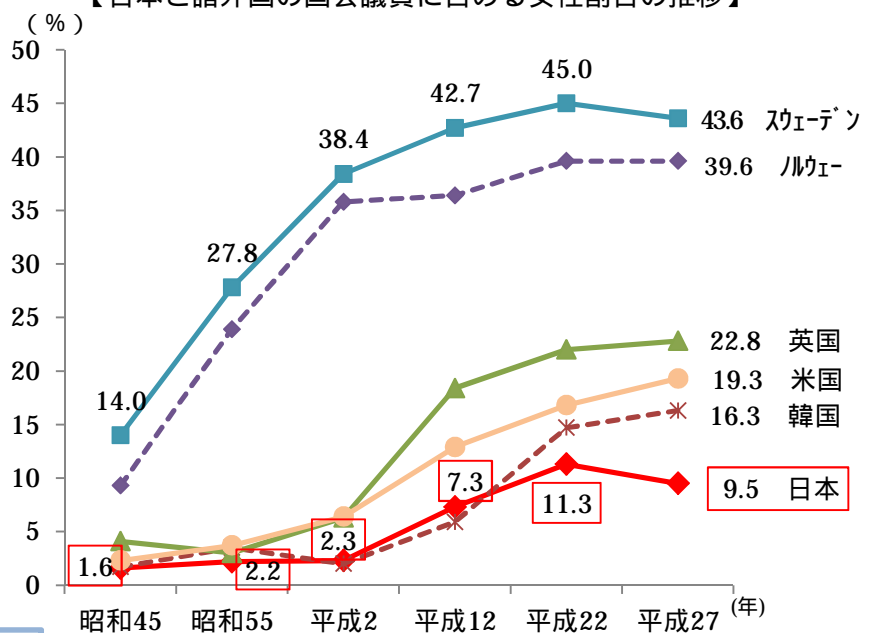
フランスでは、候補者の割合を男女同数と定めている(パリテ法)

政党による自発的な候補者割当制

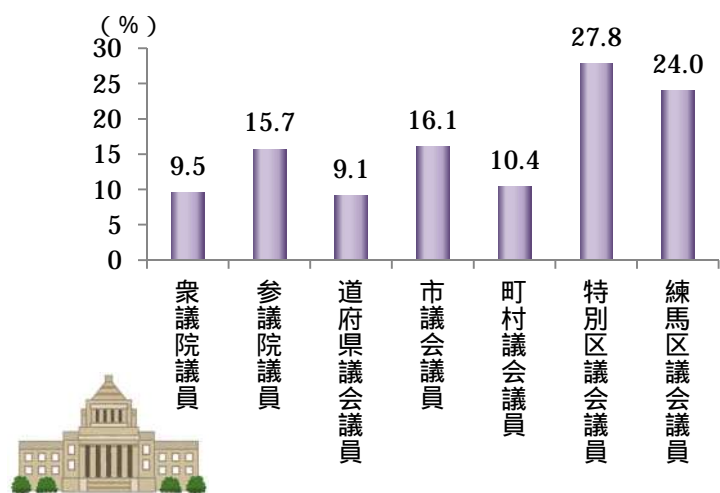
政党が議員候補者の一定割合を女性とする

日本は、「2020 年 30%」として平成 32 年までに、選挙における女性候補者の比率を 30%とすることを目指しています。

【日本と諸外国の国会議員に占める女性割合の推移】



【議会別女性議員の割合】(平成 27 年統一地方選挙結果含む)



今回の統一地方選挙では、全候補者に占める女性の割合が過去最高の 16.1%になりました。また、女性当選者の割合も 14.1%と過去最高になりましたが、平成 23 年の前回(12.8%)と比べ微増に過ぎず、依然として低い水準です。



### 女性はなぜ活躍できないのか

大沢真知子著  
東洋経済新報社 2015

総合職でも一般職でも働き続けられないのはなぜ？若い女性に専業主婦願望が強いといわれているのはなぜ？幹部候補生として採用した女性ほどやめてしまうのはなぜ？ワーク・ライフ・バランス研究の第一人者である著者が、問題の根源を解明する。



### 女性たちの貧困

NHK「女性の貧困」取材班著  
幻冬舎 2015

放映後反共を呼んだ「NHKクローズアップ現代」「NHKスペシャル」の書籍化。貧しさにあえぐ女性たちを放置することで、その子どもたちに貧困が引き継がれてしまう「貧困の連鎖」。どうすれば彼女たちが「夢」や「希望」を持つことができるのか。社会には何が求められるのか。

## 新着図書紹介



### 子どもはみんな問題児。

中川李枝子著  
新潮社 2015

名作絵本「ぐりとぐら」の生みの親であり、母であり保育士でもあった著者による子育てバイブル。焦らないで、悩まないで、だいじょうぶ。子どもはお母さんが大好きで、いつも心はお母さんと一緒。子どもは子どもらしいのがいちばんよ。心がほぐれるメッセージ満載。



### 新・気づいて乗りこえる

長谷川七重+グループしおん著  
メディアランド 2015

本人も周囲も気づきにくい精神的暴力(モラルハラスメント)。経験者とカウンセラーが共同執筆し、夫からの様々な精神的暴力を例示した。思考の癖や行動パターンを認識できるチェックリスト付き。深刻な影響を受けている面前DVの子どもについてもまとめられている。



### 町工場の娘

諏訪貴子著  
日経BP社 2014

町工場を営む家の次女として生まれた著者は、幼少期に亡くなった兄の「生まれ変わり」として育てられたという。32歳の時に父が急逝し突然主婦から社長に。様々な壁にぶつかりながら「町工場の星」と言われるまでに社業を復活させた。著者は日経ウーマンオブザイヤー2013受賞。

## テーマで読む1冊

市民派議員になるための本  
寺町みどり、寺町知正著

立候補から選挙運動、当選まで、議員活動の完璧なノウハウが満載。13年前の初版には「この本を読んで議員になりました」と全国各地からお礼の言葉が届いたという。その初版をさらにスキルアップさせた本書で、女性議員を増やそう！

(WAVE出版 2014)





# 時代を拓いた女たち

つじむら  
辻村 みちよ

明治 21 年(1888 年) ~ 昭和 44 年(1969 年)

『どうぞ持てる才能を埋もらせずに、  
掘り出して磨いて、その光も添えて真実を見、  
クリスタルを育てていただきたい』

辻村みちよは、緑茶のカテキンを発見した日本初の女性農学博士。

明治 22 年、7 人兄弟の二女として埼玉県に生まれる。父は小学校校長を務め、母は英語を学ぶ進歩的な人であった。女子の就学に無理解な時代、決して裕福ではなかったが、父の方針のもと子ども全員が高等科へ進んだ。

明治 42 年(20 歳) 東京女子高等師範学校(現・お茶の水女子大学) 理科に入学。同校で女性科学者の先駆者である保井コノとの出会いが、みちよを研究者への道へと導いた。卒業後 7 年間教壇に立ちながらも、夢を諦めることなく、当時として非常に希少な女性科学者の道に挑むことになる。

大正 9 年(31 歳)、北海道大学への進学を希望したが、女子の入学の前例がないという理由で入学は許可されず、無給助手として農芸化学科食品栄養研究室に席を置くことになる。研究のためとはいえ、師範教諭からなら保障のない無給助手へと進んだのである。後年「あの時だけは清水の舞台から飛び降りる思いだった」と語った。

大正 11 年、東京帝国大学に移り、生化学の研究を続けたが翌年関東大震災で教室が炎上したため、理化学研究所に移る。ここでビタミン B1 の発見者として有名な鈴木梅太郎の指導のもと、緑茶の成分研究に取り組み、「緑茶のビタミン C 含有」や、「緑茶のカテキン発見」など画期的な業績を上げた。

昭和 7 年(43 歳)「緑茶の化学成分について」の学位論文で女性初農学博士となった。しかし理研におけるみちよの立場は依然研究生で、正式に研究員に迎えられるのは昭和 22 年 58 歳の時である。その間不安定ながらも実験に没頭できるだけで幸福であったという。昭和 24 年、学制改革で大学となったお茶の水女子大学教授に任ぜられ、翌年家政学部初代学部長に就任。定年退官した後も実践女子大学で学生たちの指導にあたり、新茶の季節になると毎年お茶談義をし、80 歳で亡くなるまで研究を重ねた。

現在緑茶の効能は周知の事実となっているが、辻村みちよの強靱な意志で成し遂げた研究によるものである。

参考図書：「理系の扉を開いた日本の女性たち」ほか



## 猿橋賞とは？

女性が理系の学問を追求する道が困難であった時代に、地球科学者・猿橋勝子(大正 9 年 ~ 平成 19 年)は原水爆禁止運動につながったとされる放射能汚染実態を解明し、世界的業績をあげた。

昭和 55 年 4 月、気象研究所を定年退官した時の寄付金を基金として「女性科学者に明るい未来をの会」を設立し、「猿橋賞」を設け、女性科学者を顕彰する事業をはじめた。設立の趣旨は、立派な業績をあげても、女性なるがゆえに低い地位に置かれている女性科学者の未来に一条の光を当てることであった。毎年自然科学分野で顕著な研究業績をおさめた 50 歳未満の女性研究者に猿橋賞が贈られる。副賞として 30 万円。50 歳未満としているのは、その後定年まで研究のさらなる発展とともに、後進の育成に尽力してほしいという願いが込められている。日本物理学会会長を女性ではじめて務めた理論物理学者・米沢富美子は受賞者のひとりである。今年の受賞者は植物学者・鳥居啓子。

参考図書：「女性科学者に一条の光を」ほか



<http://www.gender.go.jp/c-challenge/>

# にゅーす B O X

男女共同参画週間：6月23日～29日

## 統一選 女性当選伸び悩み

今回の統一地方選では、全ての議員選の当選者に占める女性の割合が14.1%で過去最高となったが、前回の12.8%と比べ微増に過ぎず依然として低い水準。選挙別の女性当選者の割合は政令指定市議選17.4%、それ以外の295市議選16.1%、373町村議選10.4%等。

## 女性議員産休取りやすく

全国市議会議長会は「標準市議会会議規則」を改正し、女性議員が出産で議会を欠席できると明記した。これまで出産を理由とする欠席は「事故」の規定しかなかった。産休を取得しやすくし、女性の議会進出を促す狙い。

## ネット上の人権侵害最多、交流サイト子ども被害最多

法務省によると平成26年に各地の法務局が相談を受けて調査したインターネット上の人権侵害は、過去最多の1429件(前年比49.3%増)だった。また、警察庁によると交流サイトを介して性犯罪などの被害に遭った18歳未満の子どもは昨年1421人(前年比9.9%増)で、統計を取り始めて以降最多だった。

## 新型出生前検査 陽性1.7%

平成25年4月から平成26年9月までに新型出生前検査を受けた人は1万2782人だったと、共同研究組織「NIPTコンソーシアム」が明らかにした。陽性と判定されたのは219人(1.7%)。羊水検査などで、胎児の病気と分かった201人のうち83%(167人)が人工妊娠中絶を選択した。

## 性的少数者の児童生徒への配慮

文部科学省は、同性愛や性同一障害などの性的少数者の児童生徒への配慮のあり方や支援策をまとめ、全国の国公私立の小中高校などに通知を出した。性別を変更した卒業生が、変更後の性や名前で卒業証明書を求めた場合対応が可能等。教員啓発も課題となっている。

## 高齢者の要介護リスク

他者との交流が週1回未満の高齢者は、毎日頻繁に交流している人より、要介護や認知症になる危険性が約1.4倍高まることが、日本福祉大の調査でわかった。

## 練馬区 ワクチンの接種スケジュールを自動作成

練馬区は平成27年4月から予防接種サポートシステムの運用を開始した。被接種者の生年月日等を登録しておくことで、予防接種スケジュールを自動で作成してメールで知らせてくれる。対象を高齢者まで拡大しているのが特徴。

## 国家公務員女性幹部候補3割超 都管理職20%へ

政府によると、平成27年度に採用した国家公務員のうち「キャリア」と呼ばれる幹部候補の総合職に占める女性の割合は34.3%だった。3割を超えたのは戦後初。一般職と専門職を合わせた全体では31.5%を女性が占めた。政府は女性の採用比率を今年度までに3割に高める目標を掲げていたが、これを達成した。一方東京都では、育児や介護をしている職員の支援を柱とする「ワーク・ライフ・バランス推進プラン」をまとめた。育休復帰や介護の準備に関する講座などを通じキャリア形成で不利になるのを防ぐ。現在行政系で18%の女性管理職比率を平成32年までに20%に高めるといふ。

## HIV感染者 20代過去最多

東京都は昨年1年間に都内で確認されたエイズウイルス(HIV)感染者とエイズ患者の合計が512人(前年比43人増)だったと発表。このうち、20代のHIV感染者は前年比45人増の148人で過去最多だった。20、30歳代で全体の7割弱を占めている。

## 子どもの数 34年連続減

総務省によると、15歳未満の子どもの数は1617万人(4月1日現在)で前年より16万人減り、34年連続で減少。過去最低を記録した。

## マタハラ企業 公表へ

厚生労働省は、職場で妊娠や出産を理由に退職を迫られたりするマタニティハラスメント問題で、是正や勧告を無視する企業名の公表などにより指導を徹底する方針を決めた。企業により厳しい姿勢を示すことで被害を未然に防止する狙い。

## 出生率 9年ぶり低下

平成26年の合計特殊出生率(一人の女性が一生に産む子どもの数)が前年より0.01ポイント低い1.42となった。平成17年に過去最低となる1.26を記録して以来9年ぶりの低下。東京都は1.15と3年連続上昇するも都道府県別では最低。

## 「母親に優しい国」ランキング

国際NGOのセーブ・ザ・チルドレンは、世界179か国を対象に母子保健や教育、所得水準、女性の社会的地位などの項目を調査比較した「母親に優しい国」ランキングを発表した。トップのノルウェーをはじめ、上位5位を北欧諸国が独占し、日本は32位。最下位はソマリア。

